

第2次氷川町総合振興計画／施策評価シート(令和元年度)

施策コード	P2101
-------	-------

【基本構想／施策の体系】

基本構想	2 福祉の未来	施策の体系	01.住み慣れた地域で住み続けられる福祉サービスの充実
施策の方針	在宅で自立して地域で暮らし続けることを基本として、個々の住民がそれぞれの意志に基づき、ニーズに対応できる福祉社会を目指します。 ・地域密着型の在宅福祉推進サービスを充実する ・高齢者・障がい者の自立した生活支援のための環境整備を充実する		

担当部署	主管課	福祉課
	関係課1	
	関係課2	
	関係課3	

【施策の現状】

施策の現状、取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉計画、障がい者計画、障がい福祉計画、障がい児福祉計画、高齢者福祉計画のそれぞれの計画の進捗状況等について、外部委員から評価を求めている。 ・高齢者の在宅生活の支援として、おむつ購入助成、住宅改造助成、配食サービス、電話による緊急通報対応など行っている。 ・地域支援事業により、個々の体調に考慮した各種介護予防教室等へ参加を促し、要介護にならないような取り組みを行っている。
--------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業名称、指標名】

No.	事業名称	R元事業費 (決算:千円)	担当課	指標名	基準値 (H29)	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	最終目標 (R9)	進捗 評価
1	食の自立支援事業	13,397	福祉課	対象者に応じたサービスの提供	実施	実施	実施				実施	A
2	生活管理短期宿泊事業	0	福祉課	対象者に応じたサービスの提供	該当なし	該当なし	該当なし				実施	B
3	自立支援協議会運営事業	77	福祉課	障がい者等に対する支援のためのネットワーク構築	未実施	実施	実施				実施	A
4	障害福祉サービス給付等(居宅支援・施設支援・就労支援等)	252,326	福祉課	対象者に応じたサービスの提供	実施	実施	実施				実施	A
5	介護保険事業(介護給付・予防給付)居宅サービス・介護予防サービス	1,369,973	福祉課	要介護(要支援)認定者に必要に応じたサービスの提供	実施	実施	実施				実施	A
6	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)	34,693	福祉課	要支援の方の維持改善率の上昇(%)	65	71	68				70	A
7	地域支援事業(包括的支援事業)	18,042	福祉課	定期的な地域ケア会議の実施	実施	実施	実施				実施	A

8	市町村特別給付(おむつ購入費支給事業)	10,542	福祉課	要介護認定者におけるおむつ給付受給者割合(%)	33	38	38				45	A
9	障がい者への理解浸透や支援拡大	0	福祉課	障がい者への理解浸透のための活動、各種団体の連携	実施	実施	実施				実施	A
10	在宅老人緊急通報体制整備事業	1,229	福祉課	一人暮らしの高齢者に対するサービスの提供	実施	実施	実施				実施	A
11	高齢者及び障がい者住宅改造助成事業	466	福祉課	住宅改造費を助成	実施	実施	実施				実施	A
12	老人クラブ助成及び高齢者食生活改善事業	2,136	福祉課	対象団体に対し、管理運営の一部を助成、高齢者向けの料理教室	実施	実施	実施				実施	A
13	重度心身障がい者医療費給付事業	26,099	福祉課	対象者に対する医療費助成	実施	実施	実施				実施	A
14	補装具費支給事業	2,681	福祉課	対象者に対し、補装具費を助成	実施	実施	実施				実施	A
15	自立支援医療【更正医療】給付事業	1,985	福祉課	対象者に対し、医療費を助成	実施	実施	実施				実施	A
16	地域生活支援事業(障がい児タイムケア事業含む)	17,943	福祉課	対象者に応じたサービスの提供	実施	実施	実施				実施	A
17	高齢者・障がい者虐待防止事業	40	福祉課	対象者に応じた柔軟な対応	実施	実施	実施				実施	A
18												

【今後の方針】

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染拡大防止に伴う自粛やコロナウイルス感染の不安から外出の機会が少なくなっている人もあり、介護度の上昇が心配される。 ・障がい者が地域で自立した生活を送るための支援が必要とされている。
今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none"> ・包括支援センターや民生委員と連携し、食生活や見守りが必要な高齢者へ配食サービスや緊急通報による在宅支援や、要介護にならないように介護予防教室の説明を行い、安心した生活ができるように対応する。 ・対象者に応じた支援について高まるニーズに対して、地域と連携して対応する。

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	A
------	---

第2次氷川町総合振興計画／施策評価シート(令和元年度)

施策コード	P2102
-------	-------

【基本構想／施策の体系】

基本構想	2 福祉の未来	施策の体系	02.地域で福祉を支えるための組織・人材づくりと活動支援
施策の方針	緊急時も平常時も地域で福祉を支えるための地域活動支援や人材育成を進めます。 ・ 地域での福祉活動支援を進める ・ 緊急時の支える仕組みを検討する ・ 地域で福祉を支える人材を養成する ・ 介護する家庭の支援を充実する		

担当部署	主管課	福祉課
	関係課1	
	関係課2	
	関係課3	

【施策の現状】

施策の現状、取り組み内容	・ 八代市、郡市医師会と連携し、医療・介護・福祉により包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを継続して行う。 ・ 民生委員に協力をいただき、各地区において避難行動要支援が必要な人を洗い出し、名簿掲載を求め緊急時の対応を図る。 ・ 社協へ委託しているいきいきサロンは、全地区で開催している。
--------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業名称、指標名】

No.	事業名称	R元事業費 (決算:千円)	担当課	指標名	基準値 (H29)	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	最終目標 (R9)	進捗 評価
1	全地区でのサロンの設置・実施	2,943	福祉課	全地区のサロン実施推進	実施	実施	実施				実施	A
2	老人クラブ助成及び高齢者食生活改善事業【再掲】	-	福祉課	対象団体に対し管理運営の一部を助成、高齢者向けの料理教室	実施	実施	実施				実施	A
3	障がい者団体助成事業(身障者福祉会・手をつなぐ育成会等)	900	福祉課	交付事務の実施	実施	実施	実施				実施	A
4	医療・介護・福祉関係者のネットワークの形成	307	福祉課	地域包括ケアシステムの構築	実施	実施	実施				実施	A
5	在宅生活への支援、高齢者の見守り体制の確立	0	福祉課	行政、事業者、団体、住民などの関係者同士のネットワーク構築	未実施	未実施	未実施				構築	C

6	避難行動要支援者名簿の充実と個別計画の作成	492	福祉課	避難行動要支援者のデータ更新	実施	実施	実施				実施	A
7	緊急時医療等情報カードの配置	0	福祉課	シルバーボランティア活動の支援	実施	実施	実施				実施	B
8	福祉を支える人材の確保・支援	0	福祉課	人材を確保するための支援	未実施	未実施	未実施				実施	C
9	健康・福祉の地区の担い手の充実	0	福祉課	シルバーボランティア活動の支援	未実施	未実施	未実施				実施	C
10	福祉教育の充実	0	福祉課	福祉教育の推進	未実施	未実施	未実施				実施	C
11	在宅ねたきり老人等介護手当	0	福祉課	対象者に介護手当の支給	実施	未申請	未申請				実施	B
12	高齢者や障がい者を支える家族の支援	0	福祉課	養成事業に対する支援	未実施	未実施	未実施				実施	C
13												

【今後の方針】

【評価指標】

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの理想図はあるが、どのようにしたら完成するのか、どの状態が完成なのかわかりにくい。 ・コロナウイルス感染の恐れがあるため、予防教室を自粛している。新しい生活様式を取り入れたとしても高齢者を集めるため感染の心配、教室ができないため、要介護へ進行する心配がある。 ・地域福祉の充実が求められる。
今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロンは、高齢者の楽しみの一つとなっているが、参加者の固定化もあるため、地区において、子ども会や婦人会、小学生、中学生との交流など特色ある活動で地区の活性化や地域福祉のリーダー育成につなげていきたい。

A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	B
------	---

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<p>・老人福祉施設措置事業は、高齢者の増加とともにますますニーズが高まってきており、各施設とも入所待ちの状況にあるため、急な対象者があった場合、入所まで時間を要する。</p>
<p>今後の施策展開</p>	<p>・老人福祉施設措置事業について、地域包括支援センターと連携し、スムーズな入所のために対象となりそうな方の情報を共有し、近隣にある施設の空き状況を常に確認する必要がある。</p>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>A</p>
-------------	----------

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターの会員数が増えない。 ・希望する職種がない。
<p>今後の 施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことを通じて生きがいを得るため、また、社会参加により活力のある地域社会をつくりだすため、多様な媒体を利用して普及活動に取り組み、高齢者のニーズにマッチした就業機会の確保を図る。

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合 評価</p>	<p>B</p>
------------------	----------

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<p>・老人クラブ役員が中心となり運営委員会を組織するが、事業企画などが町任せとなっているため、事業内容が固定化している。</p>
<p>今後の 施策展開</p>	<p>・事業の一部でも運営委員会が主体となって企画できるよう支援したい。</p>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合 評価</p>	<p>B</p>
------------------	----------

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<p>・ユニバーサルデザインをいろいろな計画の中に位置付けていないため、漠然とした取り組みになっている。</p>
<p>今後の 施策展開</p>	<p>・ユニバーサルデザインをどの分野で取り組むか、どの視点から見た取り組みなのかなど、推進するために各分野での計画づくりや検証作業のテーマとして意見を収集する。</p>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合 評価</p>	<p>A</p>
------------------	----------

第2次氷川町総合振興計画／施策評価シート(令和元年度)

施策コード	P2301
-------	-------

【基本構想／施策の体系】

基本構想	2 福祉の未来	施策の体系	01.健康寿命延伸のための予防・健診(検診)体制の充実
施策の方針	子どもから高齢者まであらゆる世代の予防サービスを充実させる。 ・生涯を通じた適切な健康診断受診体制を充実させる ・予防活動を重視した健康推進活動を進める		

担当部署	主管課	町民課
	関係課1	福祉課
	関係課2	
	関係課3	

【施策の現状】

施策の現状、取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・【乳幼児健康診査】医師をはじめ多職種（保健師、管理栄養士、看護師、歯科衛生士、保育士、心理士）が連携し、乳幼児期の発達の確認、健康の保持増進を図っている。 ・【母子手帳交付】地区担当保健師や管理栄養士により100%個別指導を実施し、ハイリスクの妊婦にはより継続した介入を行っている。 ・【住民健診】未受診者への働きかけを充実し、受診率向上につながっている。 ・【がん検診推進事業】20歳・40歳の節目年齢にクーポン券を発行し、正しい知識の啓発や受診の定着を促している。 ・【特定保健指導・重症化予防事業】内臓脂肪の蓄積等に着眼した生活習慣病予防のための保健指導・栄養指導を重点的に実施している。 ・【歯科保健事業】乳幼児健診や歯の祭典での口腔保健の意識向上のためのポピュレーションアプローチ※、保育園・小中学校でのフッ化物洗口により12歳の永久歯のむし歯予防の意識づけを行なっている。 ※ポピュレーションアプローチ：リスクを全体的に下げることを行っていく支援 ・【予防接種事業】市郡医師会の協力を得ながら実施。第5期風しん事業の1年目として、八代市と連携し各医師会へ情報提供等により実施している。 ・【一般介護事業】週5回個人のレベルに合わせた介護予防教室を実施している。また、年2回介護予防サーポーターの養成を行っている。令和元年度から通いの場モデル地区2地区を選定し、週1回地区の公民館を使用して、いきいき百歳体操を行っている。 ・【メンタルヘルス相談事業】悩んだ時の相談窓口（町や県等の相談窓口）について広報誌等で周知に努めている。
--------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業名称、指標名】

No.	事業名称	R元事業費 (決算:千円)	担当課	指標名	基準値 (H29)	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	最終目標 (R9)	進捗 評価
1	乳幼児健康診査	2,564	町民課	乳幼児健診受診率(%)	100	100	100				100	B
2	母子手帳交付・妊婦健康診査	5,079	町民課	低出生体重児の割合の減少 (%)	15.2	11	10				9.47以下	B

3	住民健診(若者健診・特定健診・後期高齢者健診)	15,028	町民課	特定健診受診率(%)	55	55.2	55.6				60	A
4	がん検診推進事業(子宮・乳がん検診)実施に関する業務	120	町民課	子宮頸がん受診率、乳がん受診率(%)	18.5、26.2	16.2、23.7	16.8、25.6				20、30	B
5	健診体制の整備と未受診者対策	679	町民課	特定健診受診率60%以上(%)	55	55.2	55.6				60	A
6	医療費適正化事業	3,607	町民課	ジェネリック医薬品数量シェア(%)	69.6	73.3	78.0				80	A
7	特定保健指導・重症化予防事業	4,762	町民課	当該年度の特定健診受診者のHbA1c7.0%以上の人の未治療者割合(%)	約10	6.7	5.3				10%未満	A
8	歯科保健事業(歯の祭典を含む)	853	町民課	3歳児のむし歯保有率(%)	22.2	28.3	20.9				20%以下	B
9	予防接種事業	30,657	町民課	MRⅡ期予防接種率(%)	95.1	100	92.1				100	B
10	一般介護予防事業	4,010	福祉課	介護予防教室の年間参加者数(人)	203	284	260				300	B
11	食生活改善推進員協議会支援	230	町民課	地区普及活動推進の継続	実施	実施	実施				実施	B
12	メンタルヘルス相談事業	0	町民課	自殺率の減少(10万人中の自殺率)(人)	24.23	16.51	25.14				20	B
13												

【今後の方針】

【評価指標】

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・【がん検診推進事業】受診率は徐々に伸びてきているが目標に達していない。がん予防についての正しい知識の啓発とともに、受診しやすい検診体制をつくる必要がある。 ・【特定保健指導・重症化予防事業】対象者の明確化、地区担当制が上手くまわっていることで、特定保健指導が9割を超えている。 ・【歯科保健事業】3歳児むし歯保有率が目標の20%以下に達していない。乳幼児歯科検診や歯科指導の充実をより一層図る必要がある。 ・【予防接種事業】第5期緊急風しん抗体検査事業の1年目で検査率24%と低い状況にあり、勧奨通知等による推進が必要。 ・【一般介護予防事業】コロナウイルス感染症の影響により、活動自粛の状態となっている。各教室は、6カ月単位で原則次の教室へ進むような取組を行っており、最終は卒業となる。卒業生や介護予防サポーターによる元気カフェを自主運営で活動されているが、自主運営のため内容に不安を持たれている。 ・【メンタルヘルス相談事業】現在設置されている相談窓口について、相談者が知り利用できるように相談窓口の周知を充実する必要がある。
今後の施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種では、地元医師会との連携を図りさらに推進していく。住民健診妊婦への保健指導、乳幼児健診における各保健指導について、介入方法の工夫を図りながら、効果的で質の高い指導を提供していく。 ・一般介護予防事業について、介護予防のための取組みとなるため、参加者の増加に向けた積極的な取り組みを、包括支援センターや民生委員と連携して行う必要がある。参加しやすいように、地区公民館を使用した通いの場の取組みを各地区へ普及させる。

A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	B
------	---

第2次氷川町総合振興計画／施策評価シート(令和元年度)

施策コード	P2302
-------	-------

【基本構想／施策の体系】

基本構想	2 福祉の未来	施策の体系	02.生涯スポーツ活動の推進
施策の方針	生涯を通じて誰もがスポーツによる健康づくりを進められるよう、スポーツへの参加の機会やスポーツ施設の充実を図ります。 ・生涯を通じて誰もがスポーツによる健康づくりができる体制の充実を進める ・スポーツに親しむ機会の充実 ・スポーツ施設の充実		

担当部署	主管課	生涯学習課
	関係課1	総務課
	関係課2	
	関係課3	

【施策の現状】

施策の現状、取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 【体育協会活動支援事業】 補助金交付5,740千円（体育協会加入者757名） 【住民のスポーツ活動推進】 体力テスト測定会 24名参加 【町民体育祭】 夏季、秋季、冬季大会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ①夏季大会(ふらばーるバレー：33地区館619名) ②秋季大会（陸上競技：35地区館1,528名） ③冬季大会(加リング：33地区館573名、グラウンドゴルフ：29地区館395名) 【地区スポーツ活動支援事業】 スポーツ推進委員地区館派遣件数 0 件 【既存の身近なスポーツ施設の充実】 桜ヶ丘グラウンド サッカーゴール 【拠点的スポーツ施設の整備】 施設修繕等 5箇所（6,280千円） 【多目的広場の整備】 防災公園については、令和元年度に野津防災公園の整備工事（1箇所）に着手、また、宮原防災公園用地を取得し実施設計に着手した。
--------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業名称、指標名】

No.	事業名称	R元事業費 (決算:千円)	担当課	指標名	基準値 (H29)	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	最終目標 (R9)	進捗 評価
1	体育協会活動支援事業	5,740	生涯学習課	体育協会加入者数(人)	745	730	757				900	B
2	住民のスポーツ活動推進	9	生涯学習課	気軽にスポーツできる環境整備	実施	実施	実施				実施	B
3	町民体育祭	65	生涯学習課	参加者数(人)	3,410	1,056	3,115				3,500	B

4	地区スポーツ活動支援事業	0	生涯学習課	スポーツ推進委員派遣数(回)	2	0	0				5	C
5	既存の身近なスポーツ施設の充実	73	生涯学習課	施設利用者数(延べ人数)(人)	67,269	111,808	150,345				80,000	A
6	拠点的スポーツ施設の整備	6,280	生涯学習課	利用者のニーズに応じた拠点数(箇所)	4	4	5				実施	B
7	多目的広場の整備	52,260	総務課	防災公園の運用	未整備	実施設計	工事・実施設計				実施	B
8												

【今後の方針】

【評価指標】

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・【町民体育祭】夏季、秋季、冬季大会で一定の参加者数を維持していく。 ・【既存の身近なスポーツ施設の充実】町民が実際に行っている運動・スポーツは多種多様であるが、種目によっては施設に不足が生じている。また、施設の老朽化が見られるため修繕等が必要である。
今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none"> ・【町民体育祭】夏季、冬季大会の実施種目、秋季大会のプログラム実施に当たっては、町民の継続的なスポーツ活動に結びつくような種目、プログラムを検討する。 ・【既存の身近なスポーツ施設の充実】施設の個別施設計画を策定し、施設の長寿命化を進める。また、施設の充実や運営の工夫等により、施設が最大限有効活用されるよう努める。 ・【多目的広場の整備】大規模災害が発生した際は一時避難所や災害廃棄物の集積場として、平常時は地域住民の憩いの場としてスポーツ等ができる公園として、令和2年度には、網道防災公園用地を取得し、野津防災公園を年度末に供用開始し、宮原防災公園工事にも着手する。

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	B
------	---

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権作品募集について、一般の部の応募者がなかなか増えない。周知方法等の検討が必要。 ・人権啓発集会においては、氷川町人権啓発推進協議会の各部会において参加周知を依頼しているが、部会員外の一般参加は一部である。
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権作品及び人権啓発集会の応募・参加者を増やす為、全町的な周知を図り、併せて、氷川町人権啓発推進協議会構成部会と連携を図っていく。 ・氷川町人権啓発推進協議会構成部会へ、予算面も含め支援を行っていく。

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<p>・氷川町男女共同参画計画に沿った取り組みの実施や、今後条例を制定するにあたっての、ノウハウや情報が不足しており、県の実施する説明会や研修会への積極的参加や、懇話会委員との連携、意思疎通が必要である。</p>
<p>今後の施策展開</p>	<p>・男女共同参画推進懇話会委員の男女共同参画社会に関する研修会の開催や懇話会を開催。 ・氷川町男女共同参画計画を令和2年度に策定する。</p>

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>C</p>
-------------	----------